

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)有明大町線				
事業毎の通番		8	市町村名	松川村	箇所名(ふりがな)	神戸(ごうど)			
事業概要	事業目的	当路線は大町市と安曇野市を繋ぐ幹線道路であり、沿線に国営公園もあることから、大型バスを含めた自動車交通量が多い。しかし、当箇所は村道との変則交差点となっており見通しが悪いため、優先道路である県道を通行する車両が一旦停止をしている状況である。さらには、この交差点で観光客が道に迷う事態も生じている。よって、県道の線形を改良することにより、優先道路を明確にし、車両及び自転車歩行者の通行の安全を確保したい。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	緑化フェア 農山村産業クラスター形成プロジェクト							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画自動車交通量:2,833台/日							
	着手年度	平成29年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.2	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	道路改良工 L=150m W=6.0(10.0)m			180,000		162,000	18,000	
	年度事業内容(主な工種)	測量設計			2,500		2,250	250	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間の減少 観光道路・避難路の整備、通学路対策						
		間接的効果(定量的・定性的)	観光振興						
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画自動車交通量 : 2,833台/日</li> <li>○代替道路の有無 : 代替道路があるが安全性が低い</li> <li>○交通結節点アクセス : 松川村福祉バス路線</li> <li>○生活支援・観光振興 : 国営アルプスあづみの公園、安曇野すずむしの里</li> </ul>					評価	A	
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関連計画、重点施策との整合 : 都市緑化フェア、長野県総合5か年計画</li> <li>○緊急輸送路の路線指定 : 松川村避難経路</li> <li>○地域指定 : 豪雪地帯、積寒地域</li> </ul>					評価	B	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用対効果(B/C) : 1.24</li> <li>○事業期間 : 3年間(H29~H31)</li> <li>○工法等の比較検討 : 今後検討する</li> <li>○他事業との連携 : 都市再生整備計画事業(安曇野まつかわ地区)</li> </ul>					評価	B	
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年の交通事故件数 : H21 1件(車両相互)</li> <li>○道路環境改善 : 交差点での一旦停止による騒音・振動の解消、局部的渋滞の解消</li> <li>○歩道整備 : あり(幅員狭小)</li> <li>○現況の幅員、半径、勾配 : 変則交差点</li> </ul>					評価	B	
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有 : 村役場への周知あり</li> <li>○地域の取り組み : 積極的な取組あり(市町村要望、協議会要望あり)</li> <li>○地域の合意形成 : 合意形成あり</li> <li>○住民との協働 : 区民による県道清掃</li> </ul>					評価	B	
	部意見	事業の必要性が高いため、平成29年度から事業化した。	行政改革課意見	現道は変則交差点で線形が悪く、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B	

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
		
		
		
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は大町市と安曇野市を繋ぐ幹線道路であり、沿線に国営公園もあることから、大型バスを含めた自動車交通量が多い。しかし、当箇所は村道との変則交差点となっており見通しが悪いため、優先道路である県道を通行する車両が一旦停止をしている状況である。さらには、この交差点で観光客が道に迷う事態も生じている。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	松川村(H28.9)及び穂高・松川・大町間道路建設連絡協議会(H28.7)から改良要望あり。(継続)特に松川村からは、地権者が協力的であることを受け、早急な事業化を要望されている。
	③事業説明等の経緯	H27.12 地元地区から村役場に事業化の要望あり。 H27.12 建設事務所と村役場で、地権者に改良要望の内容を説明したところ、事業に協力する意向を確認。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	安曇野西山麓エリアは、平成28年度には、国営アルプスあづみの公園が全面開園し、ちひろ公園に「とっちゃん広場」が開園するなど整備が進んでおり、平成30年度には都市緑化フェアの長野県開催が決まるなど、観光振興に積極的に取り組んでいる。	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	用排水路系統や村道交差方法に配慮した計画とする。	
⑥地域活性化への影響と配慮	当工区が改良されることにより、交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることとなり、安曇野西山麓エリアの観光活性化が期待できる。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 24' 11.87" 東経:E 137° 51' 1.25"	